

RM&FP NEWS LETTER



リスクマネジメント＆ファイナンシャルプランニング

2009年3月 第63号 By FP Compass

◇マネーセミナー再開



去る2月21日(土)、久方ぶりに当社主催によるマネーセミナーを山形ビッグウイングにて行いました。

今回は前段の話が延びてしまい、後半部分をかなり急ぎ足となりました。

話の組み立て方にもう一工夫しなければいけないと感じました。

それでも、受講された方々のアンケートには心温まる応援メッセージが書いてあり、私たちスタッフ一同、開催する意義と必要性を感じさせられました。

◇資産価値としてのマイホーム

住宅市場が値崩れする中、マイホーム選びで「物件の資産価値」に注目する人が増えています。

資産価値の高低が将来の売却や賃貸の

可能性左右し、老後の生活の収支に大きく影響を及ぼします。

少子化のあおりで日本の人口が減り始めています。特に地域に至っては人口減少傾向が強く出てきています。

そうなれば、需要と供給のバランスで考えると、土地の価格は下がる事になります。

土地価格が右肩上昇していた時代には、ローンなどの金利を負担しても、それ以上に土地の価格が上がっていたため、資産価値として充分な効果がありました。

たとえ上物である建物の価値が激減しても土地の価格上昇がカバーをしていました。

土地価格の下落している現在では建物の価値を高める必要性が出てきました。

資産価値の高い物件とは、売却時の価格が高く、賃料としても高く貸すことができ、換金性の高い物件といえます。

「通勤に便利か」「周辺の教育環境が充実しているか」「将来発展しそうな地域か」「エコ対応か」などを考えてマイホームを探すことが投資効果を上げることに繋がります。

また、間取りや外観など、建て主の個性が強ければ強いほど、売却しにくくなりますので、標準的な間取りや外観にした方が無難といえます。

◇相場低迷に強い積立型投資法

日経平均株価がバブル後最安値を下回るなど厳しい投資環境が続いています。

しかし、積立型投資法では逆にチャンスとなることもあります。

一時金で購入する投資製商品（株式投資信託など）は一般的に購入時の価格よりも下回れば時価額が下がり、上回れば時価額が上がります。

今回のように大幅に価格を下げたときには購入時の価格に戻るまでかなりの時間を要し回復することが困難になることもあります。

また、投資信託などの金融商品には信託報酬などの保有コストがかかります（標準的な投資信託では年間約1.5%程度の保有コストが必要となります）。

よって、長期に保有するとコスト負担も大きくなり、思ったように時価額が回復しない可能性も含んでいます。

そこで、投資金額を毎月一定額にして、定期的に購入し続けますと、市場の価格が上がったときは買う株数や口数が少なくなり、価格が下がったときにはたくさん買うことになるので、平均購入価格を引き下げる効果が出てきます。

この手法を「ドルコスト平均法」といいます。

しばらく相場低迷は続くかも知れませんが、やがて回復すれば、安い時期に多く買ってるので利益を大きくすることができます。

ただし、この「ドルコスト平均法」にも短所があります。

それは、長期間に渡って一方的に価格が上昇したり、一方的に下落をする局面では効

果は期待できません。

しかし、どうでしょうか、長期に渡った場合価格が一方的に上昇したり、下落したりすることは歴史上無かったと思います。

価格は複雑な線を描きながら上昇したり、下落したりを繰り返しています。

よって、現実的には「ドルコスト平均法」はきわめて実践的な運用手段といえます。

市場の上昇下落にその都度、一喜一憂することをしなくとも、一定額を定期的に買い付けをする手法は、投資タイミングの分散化により平均購入コストを引き下げるだけではなく変動の動きも比較的マイルドになります。

仕事がいそがしい人にとっても精神衛生上にとってもたいへん良い方法といえます。

今のところ相場低迷が続くかもしれませんのが、やがて回復すれば利益を大きく得ることも可能となります。

ここで、積立できる主な金融商品を紹介しますと積立型投資信託、純金積立、外貨預金、外貨MMFなどがあります。

また、元本保証性の高い積立定期や財形積立があります。

価格変動幅の大きい積立プランには、変動幅の少ない、または元本保証された積立プランと併用することも良いでしょう。

また10年以上の長期に渡る積立の場合、保険商品の利用も考えられます。

例えば、変額個人年金（月払、規則的増額プラン）、変額保険（終身型・有期型・定期型：月払）、ユニットリンク保険（月払）などがあります。

保険商品の場合、保障の大きいタイプで

すと保障コストを含んでいるため、運用成果は若干落ちますが、保険金額分の保障コストの軽減効果は抜群なので、新たに生命保険を考えるときや、保険の見直し時に、採用することを考えても良いでしょう。

外貨建て生命保険の場合、保険料が円建てで一定額(運用は高利率の外貨で運用して、支払保険料は円建て表示)の場合は「ドルコスト平均法」となりますが、一般的に販売されている外貨建ての生命保険の場合、支払保険料が外貨となるために「ドルコスト平均法」とはなりません。(円利用前提の場合)

「ドルコスト平均法」を利用した投資法は、手持ち資金が多くない人も、すぐに始められることがメリットであり、結果的にリスクを軽減化する有効な手段となります。

◇あまり知られていない

「所得補償保険」の効用

所得補償保険は損害保険会社にて取り扱っている保険となっています。

いわゆる「補償」と表記しているのは損害保険会社の商品に多く、「保障」と表記されているのは生命保険会社に多く見られます。

所得補償保険とは、病気やケガによって就労できない状態と認められたときに就労可能になるまで一定の保険金の支払いを受けることができる保険商品です。

似て非なるものに医療保険があります。

医療保険は入院が原則となります。

よって、退院すれば保障されなくなります。

通院特約を付けていれば通院の回数だけは保険金が支払われますが、週に1回とか

月に2回などと通院回数が多くないのが一般的なので、通院回数で支払われる保険金の場合、少ない通院回数では充分な保障を得ることができない可能性があります。

退院後すぐに働くことができる場合は、それでも問題とはなりませんが、病気やケガによって、すぐに働くことができない状態では大きな問題となります。

特に長期に渡る就業不能の場合は、家計にとって深刻な状況となります。

健康保険や労働保険の対象となっているサラリーマンやOLの場合有給休暇や傷病手当(標準報酬月額の2/3保障)などで保障されています。

しかし、これでも住宅ローンなどの負債を抱えていたり長期に渡って就労できない場合は経済的に大きなダメージになります。

健康保険や労働保険の対象となっていない自営業や中小・零細事業所の経営者では即座に問題化します。

入院している時は、生命保険の医療保険や入院特約にて契約時に決めた定額の保険金が支払われることになりますが、退院後の自宅待機での療養時には保障されることはありません。

特に最近、厚生労働省の肝入りで入院日数が短縮化され、入院日数が非常に少なくなっています。

容態が安定し医師による恒常的な管理が必要でなければ、即退院となります。

退院してもすぐには仕事に就けない場合が多くなることが容易に推測されます。

そうなると今までの保障の仕組みでは対応

ができない恐れがでてきます。

そこで、所得補償保険の出番となります。

所得補償保険の特徴は補償期間が一般的に長いことです。

保険会社によっては最長60歳までのロングラン補償をするところもあります。

このようなロングラン補償の場合、住宅ローンなど長期負債を抱えている方には向いています。

所得補償保険では一般的にてんぽ期間(総支払限度日数)が730日や365日が一般的です。

免責日数(保険金を支払わない日数)が7日、14日、30日、60日、90日、180日、365日と多くのバリエーションがあり、免責日数が大きくなれば保険料は安くなります。

保険料は年齢と職業により変わります。

また、保険料が5歳ごとに上がるタイプや保険料がそのまま上がらない平準型の2通りあります。

過去の経験上、病気やケガにより働くことがきれない場合、ほぼ入院を伴います。

免責日数で補充されない部分と手術給付金は医療保険でカバーし、長期に渡る入院や自宅での療養は所得補償保険にバトンタ

ッチさせる連携プランにすることにより、今後さらに短期入院が推進される時代にマッチした補償プランとなります。

また、家計のリスクマネジメント上、重要な補償の一つともいえます。

◇新たなメンバーが仲間入り

阿部浩和君が2月より仲間となりました。

彼は外資系生命会社にて営業社員として経験を積み、昨年独立し、アフラックの代理店として登録しました。

その後損害保険の仕事を始めるに当たり当社と業務提携をすることになりました。

◇マナー&保険セミナーのご案内

当社主催のセミナーを下記の通り開催させていただきますので、ご希望の方は別紙の申込書の必要事項をご記入の上、ファックスまたは電話にてお申し込みください。

日 時：平成21年3月28日(土)

14:00～16:00

場 所：山形ビッグウイング402号室

会 費：1,000円

※このRM&FPニュースレターの読者は「読んでるよ」の一言で無料となります。

発行者 有限会社 FPコンパス

武田幸夫 藤井義容 大木隼人 木村正照 阿部 信 工藤 進 大西忠兵衛
阿部 尊 高橋詔之 高橋治子 佐藤豊彦 佐藤和一 浅見洋子 阿部浩和
深瀬幸子 多田恵子 土赤 妙 鈴木由美子

〒994-0063 山形県天童 市東長岡2-1-34-103

TEL 023-658-3512 FAX 023-658-3513

2月21日に山形市の「ビッグウイング」で開催されました

「マネーセミナー」で聴講された方々のご意見を多数頂き感謝いたしております。

その中の一部をご紹介します。

1. 時間の大切さというものが保険に生きられる
やり方が強調されています。(反対あり)
2. 新しい言葉を聞いて率が新鮮でうれしく感じます
3. 免責について考え方をうけました。
4. 常にCVを頭に入れて加入する事が大切と分かりた
としており、そして時間が足りなければ一度
かいて、ありがとうございます。

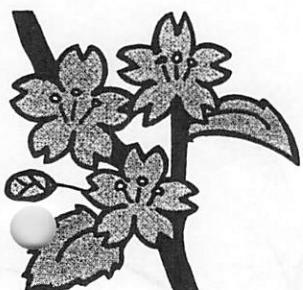
現在、保険の見直しで相談させてもらっています。

27才ですがこれまでの年月の効用をうまく使えていなかった事を知り
驚愕しております。

これからは積極的にお金の事を考えて行きたいと思ひました。

ありがとうございました。

これからもよろしくお願い致します。



本日は参加させて顶いて誠にありがとうございました。

長期的資産運用には保険が良いですが、リスクマネジメントを使用した

方がこれまで何よりも大変参考になりました。

新規事業をはじめて開始ですか、私は日々勉強して、一人前のセールスマネ

ケージだと思っております。

本日はありがとうございました。



20代 30代の夫婦や、なんとなく、すすめられた保険に入ってしまった方は、
目からウロコな内容でした。

誰も見付きセミナーなどあると、小さい子供のいるママ・パパたちにも、
いい機会になると 思います。

本日はありかとう 御座居ままで。

お金の運用や身の回りの危険(リスト)への対処の
仕方を分かりやすく 説明いたしました。

そして 保険の加入の仕方。全てを保険でカバーする
のではなく、リストを保有するのも必要だと感じました。
又、セミナーがあれは 参加させたくなります。
ますのご 宜しくお原稿へ 致します。



難しい言葉をわかりやすく 説明して いたいたいた事、保険に
付するしきりとした考え方を 説明して いたいたいた事、この
2つがこのセミナーに参加して たいへん良かったと思
点です。 お金のことを見る直さきかけになりました。
ありがとうございました。



初めて耳にする言葉、情報がほとんどない。なぜ今まで知らなかった
生きてきたのかと 落ち込みました。

今回のセミナーで得たことが できて1歩前進も元に自分で 勉強して
いかなければならぬと 強く思いました。

もの見方、考え方が変わることと鬼いよう。

身にたまふ語を本当にあります。この機会にめぐり会えて
私はとてもラッキーです。